

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	八千代市役所			代表者名	服部 友則
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	情報政策課	連絡先電話番号	047-421-6705
担当者役職	主任主事	担当者氏名	田中 康平	連絡先E-mail	
住所	2768501 千葉県八千代市大和田新田312-5				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	デジタル人材育成
概要	職員向けにDX推進に関する研修会を実施したい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 行政手続オンライン化		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻		
	令和7年1月22日	講演	13時30分	15時30分	
				活動時間（分）	120

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	東 富彦
評価	よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	少子高齢化による生産年齢人口の減少に伴う影響等、自治体の具体的な現状分析からDXの必要性について説明があったほか、中津市で実際に取り組まれている事例を紹介いただき、取組の推進により住民の生活がどう良くなったのか、どういったプロセスが必要だったのかといった視点から説明をいただきました。また、自治体DXの推進には「生活者の視点に立ち職員自らがデジタル技術を活用した高度な行政サービスを継続して効率的に提供できるようになること。」が必要であると説明いただき、職員が自ら考えて積極的に取り組むことの重要性について学ぶことができました。講演後に行った職員アンケートにおいて、DX推進に関する様々な意見が寄せられたことから、職員のDX推進に関する意識醸成にも繋げることができたと考えております。
アドバイザーへの要望事項	事前に打合せした内容に沿って、説明をしていただきました。次回以降も機会があればお願いできればと考えております。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	55人		
	属性 自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)	
	人数	55	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	職員間での自治体DXに関する知識や意識にバラつきがあるとともに、日々の業務に忙殺されていると見受けられ、職員による自発的なDXの推進が難しいと考えられます。このことは、職員を監督する立場の管理職の職員についても同様であります。よって、それぞれの立場の職員に必要な意識改革を図ることで自発的にDXを推進していく体制を構築する必要があります。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	今後実施予定の講演により、職員のDXに関する意識の改革を図り、住民の満足度を上げるための取組を自発的に推進できる体制の構築を図る。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	管理職職員に対し、下記内容の講演をしていただきました。 <ul style="list-style-type: none"> ・自治体DXの定義 ・政府の取組 ・アナログ規制の見直し ・自治体の現状 ・中津市の取組について
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	④予算以外で、今後取組む事項がある
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 <input type="checkbox"/> ⑦その他 講演実施後のアンケート結果から、DX推進に関する職員の意識醸成に繋がることができたと考えております。今後も職員研修等を通じて、職員が自ら考えて積極的に取り組む体制の構築に努めていきたい。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回はDX推進員、一般の公募職員及び管理職職員向け講演を実施しましたが、DXを効果的に進めるためには、職員の意識醸成が必要不可欠であることから、今後の職員研修では今回受講しなかった職員にアプローチができるよう、検討を重ねていきたいと考えております。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート調査の結果、講演を聞いて良かったとの感想が多数寄せられ、DX推進に関する様々な意見も出たので、職員の意識醸成に繋がることができたと考えております。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい <input type="checkbox"/> ④予算以外で、今後取組む事項がある 次年度以降も更なるDX推進に向け、職員の意識醸成を図るための取組を進めていきたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	職員の自治体DXに係る意識改革を図り、自発的に市民の利便性を向上させる取組を推進していく体制を構築するとともに、業務改善によって職員の生産性を向上させる。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



第1グループ 13:30~14:



第2グループ 14:40~15: